



橋場 清廣 議員

# 問 幼児教育、少子化の影響は

## 答 私立幼稚園の運営に懸念

**議員** 加速する少子化が今後、幼児教育にどんな影響を及ぼすのか懸念される。

園児数の見通しと、現状についてどう考えているか。

**町長** 葛巻幼稚園の園児数は、定員80人に対し、19年度17人、20年度19人で、21年度は12人程度となっており、今後きびしい事態が予想されます。

町では18年度に就学前教育の在り方検討委員会を設置し検討してきましたが、特に就学前に「生きる力」の基礎となる心情、意欲、態度を育てる幼児教育の重要性に関して、私自身もしっかりと認識しています。

これまで、幼稚園は、その役割の一翼を担ってこられました。が、幼児教育は、幼稚園と家庭が連携・補完しながら、進めることが大事なことだと考えています。

こうした考えのもとに、幼稚園に対する運営費補助金を交付して運営を支援し、併せて私立幼稚園就園奨励費補助金を入園児の保護者に交付してきました。ご指摘の園児数の見込みから運営の影響が懸念され就学前教育



消防演習で行進する幼稚園の鼓笛隊

育推進に向け、行政も一定の連携を図り、善後策の検討も必要であると認識しています。

そのため、町としては、就学前教育の重要性を広報するなど、側面からの支援を今以上に講じます。が、幼稚園だからこそ出来る特徴付けと、そのアピールなどに取り組んでいただくことも大切と考えています。

## 問 まちなか活性化事業評価と今後について

**議員** まちなか活性化事業は商工会、町当局、自治会、町婦協、第3セクター、森林組合などの協力で、年4回開催しましたが、

その評価と次年度の開催についてどのように考えているか。

## 答 中心市街地への集客成果があったと認識

**町長** 四季を通じたイベントが、中心市街地への集客の面で、一年目としては大きな成果があったと認識しています。

21年度も支援してまいります。が、「まちなか活性化協議会」の創意工夫と個々の商店の積極的な販売促進活動により、中心市街地活性化への気運が生まれてくるものと期待します。



葛巻駅構内で開催された秋のイベントを楽しむ町民の皆さん

であるとか公民館、病院、保育所等を想定しています。

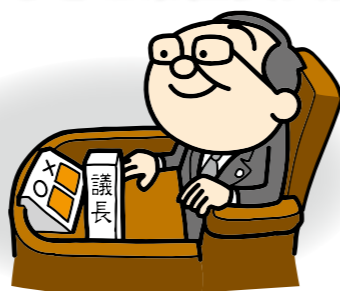
**問** どの程度の積み立てを予定しているのか。

**答** 目標額を5億円として3年から5年の間で達成したいと考えています。

**問** 財政調整基金とこの公共施設等整備基金とが同じような目的に使うことができると思われるがどのように分けて運用していくのか。

**答** 公共施設等整備基金は建物を建てるためであり、財政調整基金は一般的には大きな災害など、臨時的、緊急的な財源として考え、分けて運用します。

# 3月定例会 輝くふるさと常任委員会 質疑



## 美術品取得基金 条例は廃止へ

美術品の取得を円滑に行うための基金の運用に關し定めた「美術品取得基金条例」は平成8年4月1日に施行され、五千万円積み立てられました。

同年8月から11月までに本町出身の勝正弘さんの漆絵5点を約2900万円で購入し、平成21年3月31日現在の基金残額は約2100万円となっています。

**問** 今回条例廃止の理由付けはどうか。

**答** 平成10年に策定した総合計画のフレッシュビレッジ構想



葛巻中学校に展示している勝さんの作品「山狭」

で具体的に美術館整備の計画を立ててきましたが、様々な経済状況を踏まえて見送られ、実現に至りませんでした。

それ以後、行政改革の推進による他の基金の見直しもあり、今回美術品の基金についても廃止という考えになりました。

**問** 平庭のエコパーク構想のなかで町が所有する美術品を一同に展示できないかと話題に上がりましたが、計画が縮小され、森のこだま館だけとなりました。美術品を一同に展示できるよ

## 公共施設等整備 基金条例は設置へ

町が行う公共施設等の整備に要する経費の財源に充てるため積み立てる「公共施設等整備基金」の運用に關し定めるこの条例は平成21年4月1日施行されます。

本町の主な公共施設は昭和40年代から50年代に建設されたもので建て替えや、大規模な修繕が必要になっています。

**問** どのような建物を想定した基金なのか。

**答** 公共施設については、学校



町の主な施設は昭和40~50年代に建設されています。写真は葛巻病院